

英語による国際理解教育支援活動の現状

小学校外国語活動の必修化

文部科学省は、平成20年3月28日に小学校学習指導要領の改訂を告示。小学校外国語活動(英語)の必修化を決定しました。平成23年度からは、全国の公立小学校5・6年生を対象に、年間35時間の外国語活動(英語)が行われます。

5年生から必修化

これまで小学校の英語は『総合的な学習の時間』の中に位置付けられた国際理解教育の範囲で指導されてきました。必修化となれば、総合的な学習の時間の枠ではなく、独立した時間が英語活動の時間になります。平成23年度からは、総合的な学習の時間が現在の年間110時間から70時間に減り、英語活動の時間が35時間設けられます。

市内の小學生は今

市内13校すべての小学校では、総合的な学習の時間を使ってALT(外国語指導助手)と一緒に英語活動を3年生から6年生が行っています。しかし、毎週1時間行う学校もあれば、隔週で行う学校もあります。また、1・2年生が英語活動を行っている学校もありさまざまです。移行期間となる平成

21・22年度は、全小学校の5・6年生が英語ノート(※)を使って学習を行います。

市内のALTは現在民間業務委託で5人、JETプログラム(国からの紹介による)で1人の計6人です。1人あたり、中学校1校と小学校2〜3校を担当。ALTがいることで、生の外国語の発音を聞くことができることも、異文化に対する理解が深まっています。

山武市教育委員会は、学校の授業を参観し指導改善を行っています。また、教育委員会職員が直接小中学校の児童生徒に対して模擬授業を行い、手本を示しながら指導助言を行っています。教具・教材の支援、特に小学校の英語活動については、最新の教具を配付する予定です。

※英語ノートとは、文部科学省から配布される書込み式の資料のこと

国際交流会

今年度は、市内13校すべての小学校が国際交流会を開催しました。この交流会は、成田空港と空港周辺地域社会との調和を促進する事業の一環として、今年度から(財)成田国際空港振興協会が成田国際空港㈱の協賛を得て始めたものです。英語教育への支援を行うことにより、地域社会の発展に貢献することを目的として小学校で授業が行われました。

My name is・・・グループに分かれて自己紹介▶

▼簡単な英単語を使って楽しく授業



▲一睦岡小学校一

睦岡小学校では1月22日、全校児童の授業参観日にあわせて6年生が参加。児童は、普段の英語活動とは違い、折り紙や書道など、日本文化を紹介しながらの授業を行いました。講師の初めてとは思えない堂々とした書や、折り鶴はお土産として喜ばれるなど、和気あいあいとした雰囲気の中で進められました。

◀一松尾小学校一

松尾小学校では、11月14日に10人の外国人を招待して交流会を行いました。参加した5・6年生は、今までALTと学習してきた英語を駆使し、インタビューや一緒にゲームを行いながら交流を深めました。